

事務事業マネジメントシート(平成27年度実績と平成28年度計画)

平成28年 7月26日更新

事務事業名		小中学校スポーツテスト実施事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	鍛野 文昭
	施策	20	義務教育の充実			所属課	学校教育課	担当者名	鶴田 裕之
	施策の柱	62	体育の推進			所属班	学務指導班	(内線)	2224
予算科目		会計一般	款 10	項 2	目 1	事業連番 10670 他	根拠法令	なし	
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 27年度で終了 <input type="checkbox"/> 27年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	児童生徒の体力低下等顕著になる中で、県・全国のテストデータと比較し、より効果的な体育授業活動を行うためにはじまった。児童生徒の体力低下は年々低下傾向にあり、この事業の必然性は高まっている。【事業の内容】小中学校児童生徒のスポーツテストを実施し、データ分析処理を行い、学校における体育活動をより効果的に推進するため。
【業務の流れ】	委託業者選定事務、契約事務、実績確認事務、委託料支払い事務
【主な予算費目】	委託料
【意見や要望】	特になし

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 27年度実績(27年度に行った主な活動) (DO)	児童生徒の体力測定のためのスポーツテストを実施し、そのデータを分析し、学校における体育活動をより効果的に推進した。	28年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
		児童生徒の体力測定のためのスポーツテストを実施し、そのデータを分析し、学校における体育活動をより効果的に推進する。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 人	予算の主な増減の理由
→ ア スポーツテストを受けた児童数	人	児童生徒数の増加に伴う委託料の増額
イ スポーツテストを受けた生徒数	人	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
小中学校児童生徒		(単位) 人
		→ ア 小学校児童数
		イ 中学校生徒数
		人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
小中学校児童生徒		(単位) %
		→ ア 効果的な体育の授業が行われた割合
		イ
*③成果指標設定の理由と28年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
体育活動の効果的推進		全体計画
		～ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	25年度 実績(決算)	26年度 実績(決算)	27年度 目標(当初予算)	27年度 実績(決算)	28年度 目標(当初予算)	29年度 予定	30年度 見込	31年度 見込	
① 活動指標	ア 人		4,105	4,148	4,314	4,303	4,423	4,530	4,630	4,730	
	イ 人		1,744	1,616	1,878	1,825	1,935	1,990	2,040	2,090	
② 対象指標	ア 人		4,105	4,219	4,314	4,314	4,423	4,530	4,630	4,730	
	イ 人		1,744	1,837	1,878	1,878	1,935	1,990	2,040	2,090	
③ 成果指標	ア %		100	100	100	100	100	100	100	100	
	イ										
投 入 費 量	財 源 内 訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	人 件 費	一般財源	千円	813	872	1,260	889	1,484	1,520	1,535	1,570
		(A) 事業費計	千円	813	872	1,260	889	1,484	1,520	1,535	1,570
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	2	1	3	2	3	3	3	3
延べ業務時間	時間	20	100	20	22	20	20	20	20		
(B) 人件費計	千円	79	398	79	81	79	79	79	79		
トータルコスト(A)+(B)	千円	892	1,270	1,339	970	1,563	1,599	1,614	1,649		

事務事業名	小中学校スポーツテスト実施事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	学校教育課
-------	-----------------	-----	-------------	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は27年度の事後評価、ただし複数年度事業は27年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①27年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②28年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 引き続きスポーツテストを実施し、データ処理の委託を予定している。
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 スポーツテストを行い、データ処理の事業であり成果の向上余地はない
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に類似事業はない
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 他に類似事業はない
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 業務時間は必要最低限の時間であり削減はできない。委託するような業務時間でない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 この事業により特定の個人又は団体に利益を生じるものではない。受益者負担は取っていない。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 以前より専門の業者に委託している

3 評価結果の総括 (CHECK)

児童生徒の体力測定のためのスポーツテストを実施し、そのデータを分析し、学校における体育活動をより効果的に推進した。
児童生徒の体力等は年々低下傾向にあり、この事業の必要性は高まっている。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						